

ビーカーの使い方 (1)

ビーカーの持ち方



薬品の入れ方



ビーカーの使い方 (1)

解説

ビーカーを扱う際に起こる事故は、中身をかくはんしているときや加熱するときに起こることが多い。

そこでこれらの事故を防ぐためのビーカーの扱い方を次に記す。

ビーカーの持ち方

- ・ビーカーは、注ぎ口の反対側から、ふちのすぐ下に手を添えるように持つ。

〔理由〕

ビーカーのふちが指にかかっているので、しっかりと持てる。また、注ぎ口から伝わって漏れた薬品が指にかからないためである。

薬品の入れ方

液体の薬品の入れ方

- ・ガラス棒にそわせて注ぐ。

〔理由〕

薬品を適切な勢いで注ぐことができるので、量の調整がしやすく、薬品が飛び散らないためである。

固体の薬品の入れ方

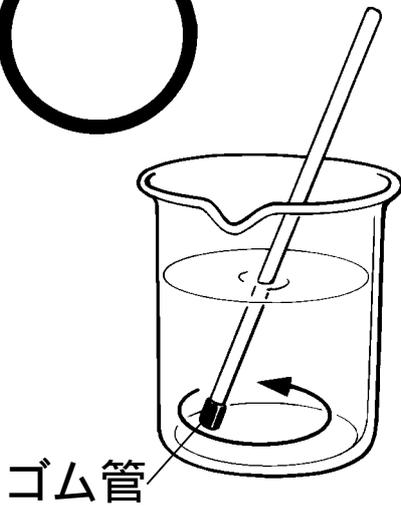
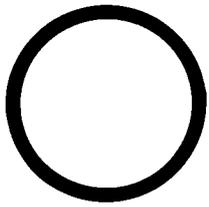
- ・ビーカーを傾け、ビーカーの壁面に沿ってすべらせるように入れる。

〔理由〕

ビーカーを立てたまま入れると、底にひびが入ったり割れたりして危険である。

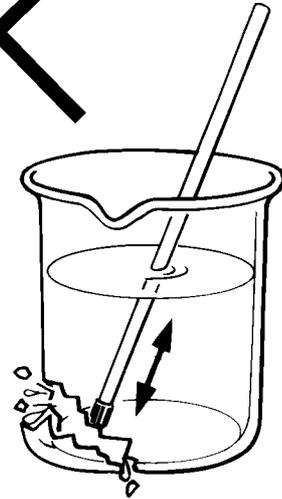
ビーカーの使い方 (2)

薬品の混ぜ方



ゴム管

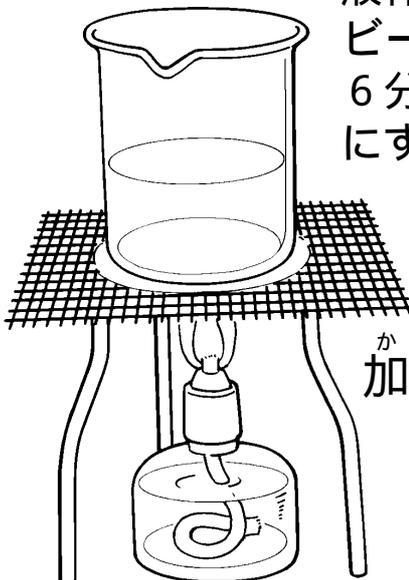
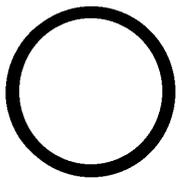
えが
円を描くように動かす。



やってはいけないこと

上下に動かさない。

加熱の仕方

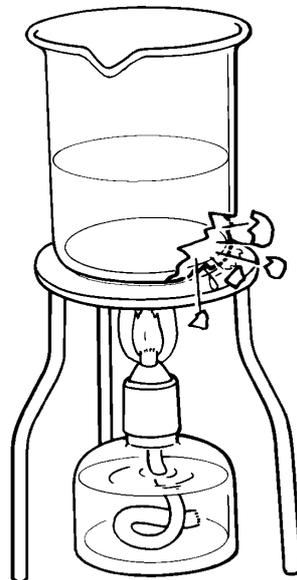


液体の量は
ビーカーの
6分目以下
にする。

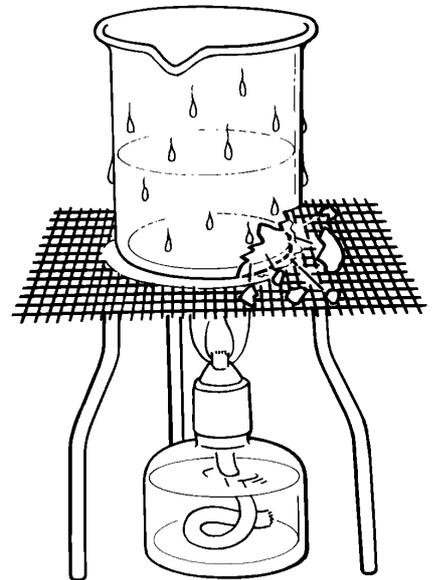
かねつようかなあみ
加熱用金網



じかび
直火に当てる
と割れる。



すいてき
ビーカーの外面に水滴
がついていると割れる。



ビーカーの使い方 (2)

.....

解説

薬品の混ぜ方

- ・先端にゴム管をかぶせたガラス棒を用いて，ビーカーの底をつつかないよう，円を描くように動かして混ぜる。

〔理由〕

ガラス棒の先にゴム管をつけるのは，ガラス棒とビーカーが直に触れるのを防ぐためである。

やってはいけないこと

- ・ガラス棒を上下に動かして混ぜてはいけない。

〔理由〕

ガラス棒でビーカーの底を突き破ることがあるので，危険である。

加熱の仕方

- ・ビーカーの外面上についた水滴を，布でよくふき取っておく。

〔理由〕

水滴をつけたまま熱すると，ビーカーにひびが入ったり，割れたりして危険である。

- ・加熱用金網を用いて，ビーカーの底面がまんべんなく熱せられるようにする。

〔理由〕

ビーカーの一部だけを強く熱すると，ビーカーにひびが入ったり，割れたりして危険である。